

企業名：シチズン時計

レポート名：シチズンレポート 2022

1. この会社が目指している将来の姿が理解できるか

シチズン時計のありたい姿としての『市民に愛され市民に貢献する。』という企業理念がどのようなものなのかということが理解できた。実際にシチズン時計は2020年4月に「サステナビリティ委員会」を設置し、この委員会を中心として、各社でのサステナビリティに関する課題の検証や活動状況の進捗等を定期的に確認することで社会課題の解決に向けたサステナブル経営を行っている。

2. この会社の現在の競争優位性が理解できるか

私はシチズン時計の競争優位性について統合報告書から理解できたと考える。私はシチズン時計の優位性はそのブランド力と技術力にあると感じた。シチズンレポート2022によると、シチズン時計は2021年度にシチズンの最上位ブランド『The CITIZEN』と、新たな機械式時計ブランド『Series 8』を投入し、市場からの大きな反響を得た。また、シチズン時計は独自の加工技術であるLFV技術の搭載機を中心に販売を拡大している。

3. その競争優位性に持続性があるかどうか理解できるか

私はこの競争優位性に持続性があると考えます。シチズン時計はサステナビリティ経営を基本方針として掲げている。サステナビリティ経営の中でシチズン時計は自社に対して持続可能な事業経営を課していると考えられるため、競争優位性にも持続性があると思われる。

4. この会社で自身の人的資本の価値向上を達成できると思うか

私はシチズン時計で自身の人的資本の価値向上が達成できると考える。シチズン時計では社内でのディスカッションやコミュニケーションによる意見交換が重要視されていることが統合報告書から読み取れる。このような環境の中で自分の人的資本としての価値を発揮できる機会が十分に与えられていると思う。

5. 報告書のよかった点はどこか、どのような改善余地があるか

私はシチズン時計の統合報告書は全体としてまとまっていて読みやすかったと考える。写真や図などを用いることでイメージがわきやすくデザイン性にも優れていたと思う。